

1 フローラ(花の女神)のまちづくり 鏡石幼稚園芝生園庭使用開始式

9月12日(金)、午前9時から鏡石幼稚園で園児104名が参加して、芝生園庭使用開始式を行いました。町では、花と緑に囲まれた心やすらぐフローラ(花の女神)のまちづくりを行っており、その施策の一つと

して、子ども達が裸足で元気に遊べる環境をつくり、運動能力の向上を図るため鏡石幼稚園の園庭を芝生にしました。

式では、木賊町長が芝生について転んでも痛くないので、友達や先生と毎日元気に遊んでください。」とあいさつ、次に園児代表の、井上有咲さん、矢吹芽さん、渡辺聖菜さんが「芝生の上で、みんなで楽しく遊びます。」と感謝の言葉を述べました。

最後に木賊町長・齋田教育長、坂本正博PTA会長、鈴木園長、園児代表の桐生玲奈さん、佐藤ちあきさんによるテープカットが行われました。

20日(土)には、芝生の園庭になって初の運動会が開催されました。園児と保護者は、ふかふかの芝生の上で駆けっこやダンスなどの競技をして運動会を楽しみました。



芝生の上でテープカット

2 町発展のために貢献 吉田新市さん、勲六等瑞宝章「受賞ノ町に多額の寄付

高齢者叙勲「勲六等瑞宝章」を受賞した吉田新市さん(本町211)への伝達式が、9月8日(月)に町役場で行われました。

今回の受賞は、吉田さんが、町議を3期12年間務め、副議長など議会運営に尽力し、また、町交通安全協会会長など数々の役職を歴任し町発展に貢献したことが認められてのもです。

式では、木賊町長、菊地栄助議長らが見守る中、高畑秀則県中地方振興局長から、吉田さんに勲記と勲章が伝達されました。

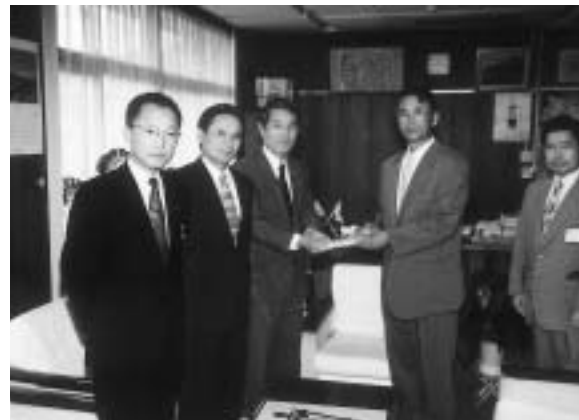
また、9月12日(金)には吉田さんの長男の喜一郎さんが、町役場を訪れ、町に現金100万円を寄付しました。

今回の寄付は、吉田さんが、行う予定だった「勲六等瑞宝章」の受賞祝賀会を高年齢等の理由により行わない代わりに、町の将来を担う子ども達のためになればと町の育英資金に寄付したものです。

木賊町長からは、吉田さん「ありがとうございます。町の子ども達のために、このお金を大切にに使わせていただきます。」とお礼の言葉がありました。



吉田さんを囲んで記念撮影



木賊町長に寄付金を渡す吉田喜一郎さん

5 お年寄りの長寿を祝う 町敬老会開催

9月15日(月・敬老の日)、町鳥見山体育館において、平成15年度町敬老会が開催されました。

今年の敬老会には、平成15年12月31日現在で満73歳以上の町民の方、1,331人を招待しました。

会では、木賊町長の式辞のあと、県敬老祝金及び町敬老年金受給者、最高年齢者などに記念品が贈られました。

終了後は、鏡田長寿会による花笠音頭をはじめ大正琴や踊りなど8種目の演芸を行い敬老の日を祝いました。



今年の招待者は1,331人

3 新たな歴史の1ページ 鏡石一小創立130周年を祝う会

9月19日(金)、午後1時30分から鏡石町立第一小学校で創立130周年を祝う会が開催されました。

会では、参加者で校歌を斉唱したあと、父母と教師の会会長の木賊正男さん、同窓会会長の石井清司さん、石井幸男校長からあいさつがあり、次に歴代の校長・父母と教師の会会長・体育文化後援会長へ感謝状の贈呈などが行われました。最後に、唱歌「牧場の朝」・「世界にたった一つの花」を全員で歌い130周年を祝いました。



全校児童で130周年を祝いました

4 働くことの大切さを実感 鏡石中学校職場体験学習

9月11日(木)、鏡石中学校では、働くことの大切さを実感し、将来の進路設計に役立てるため、2年生141名が町内の事業所で職場体験学習を行いました。

体験先の一つである、鏡石保育所では、21名の中学生が、3名ずつ7クラスに別れ、子どものオムツを取り替えたり、ご飯を食べさせたりして保育士の仕事を体験しました。仕事を終えた中学生は、子どもがとても元気で疲れたけど楽しかったです。」と、保育士の仕事の大変さを実感していました。



保育士の仕事を体験する中学生

6 交通事故を未然に防ぐ 成田地区に信号機を新設

9月1日(月)に、県道成田・鏡田線、県道須賀川矢吹線の成田地区内交差点に信号機が新設されました。

この信号機は、電気料金、電球の耐久年数が長い省エネタイプの機械で、県内の設置は始めてです。

これまでとは違い、通学時に自転車や徒歩で横断していた、高校生や小中学生、成田幼稚園の園児達も安心して信号機のある交差点を横断できます。これからみなさんが交通ルールを守って事故が発生しないことを願っています。



園児たちも安心して交差点を横断